

伝統の業に心躍る

市郷土芸能祭で市内外11団体が芸能披露



芸能祭のトリを飾った夏井大梵天神楽。中学生も見事な神楽を披露し、盛りだくさんの郷土芸能のうたげを締めくくりました

2年に一度、市内の郷土芸能団体が一堂に会して開催される市郷土芸能祭（市郷土芸能保存団体協議会など主催）は2月1日、アンバーホールで開かれました。

市内の団体に加え、県の無形民俗文化財に指定されている大宮神楽（田野畑村）が特別出演。前日までの大雪で道路に雪が残る中、来場した約400人の観客を前に計11団体、約200人が伝統の舞や唄などを披露しました。

勢いのあるバチさばきで圧倒した久慈備前太鼓から、愉

やかな口上と舞いで笑いを誘った大芦しゃくし舞など発表された芸能はさまざま。地域に根付いた特色ある芸能に、観客は時間がたつのを忘れて熱い視線を送りました。

すべての発表を楽しんだ十文字ヨシノさん（長内町）は「郷土芸能は大好き。もっと若ければ神楽を習いたかった」とニコリと笑顔。

夏井大梵天神楽の一員で小学生から練習を積んでいる正路優さん（夏井中3年）は「観客の皆さんに楽しんでもらえたらうれしい。神楽を地域に残していけるように、これからも頑張りたい」と伝統の業を伝える続ける決意をにじませていました。

「けさった」元気な地域に選定



より活躍が期待される「けさった」と和嶋局長

久慈地域の魅力をPRする北リアスゆとり旅観光ガイドの会「チームけさった（宇部松蔵会長）」が県の元気なコミュニティ100選に選ばれました。

1月20日に合同庁舎で和嶋憲男久慈地方振興局長から選定証を交付された宇部会長は「まだやることがいっぱい。もっと観光客に喜んでもらうため、今後も勉強し続けたい」と意欲を元気に語りました。

「けさった」は平成18年6月に設立。会員22人で観光ガイドやPR活動のほか観光地の清掃活動なども行っています。



1



2



3

- 1 迫力の太鼓で観客を魅了した久慈備前太鼓
- 2 躍動感あふれる大宮神楽の舞
- 3 子どもたちが元気よく唄い踊った小袖漁撈唄
- 4 観客の笑いを呼び込んだ大芦しゃくし舞



4